

**海老名市立今泉中学校 学校運営協議会 議事録**  
**(令和6年度 第3回)**

- 1 日時** 令和7年3月17日(月) 11:00～13:00
- 2 場所** 海老名市立今泉中学校 図書室
- 3 出席委員** 金田ゆかり委員長、成瀬由紀子副委員長、栗山明郎委員、樋口るり子委員、碓井雅巳委員、平井千恵子委員、山川勇委員、河野康委員、清水麻子委員

**4 会議の内容**

**(1) 学校長挨拶**

山川校長：1年生は中堅学年になる準備、2年生は最高学年になる自覚を芽生えさせる取り組みをしている。卒業式に参加できなかった生徒は、午後に証書を受け取ったり、保護者が代わりに証書を受け取ったりすることもあった。進路が決まっていない生徒については、今後、生徒自身の気持ちが進路に向いた時に対応していく。

**(2) 授業参観**

**(3) 令和7年度 学校教育目標等について(校長)**

山川校長から学校教育目標、令和7年度重点課題等について説明があり、学校教育目標が承認された。

碓井委員：地域社会との結びつきをインクルーシブ教育に入れていくべき。

体育祭で敬老席を作るなど、子どもが地域に関心を持つことを念頭に教育活動を行ってほしい。

成瀬委員：生徒が様々なボランティア活動に参加できるように学校からも周知していったらよいのでは。

金田委員：学校運営協議会で、生徒たちの意見が聞けるとよい。  
よりよい授業づくりの公開授業研究を参観したい。

**(4) 令和7年度 特色ある学校づくりについて(教頭)**

河野教頭から特色ある学校づくりについて説明。

栗山委員：予算について、学校で必要な物を市に要望することはできているか。

山川校長：学校の要望を市が検討して決定している。相互のやり取りができている。

樋口委員：卒業式の呼名から不登校生徒が増えていることを感じた。

山川校長：不登校生徒や保護者が共通して心配している「学校からの連絡が途絶えてしまうこと」がないように、学校からは支援を続けていきたい。

樋口委員：フルインクルーシブはどのように進んでいくのか。分けて学んだ方が双方に丁寧に学べる部分はあるのではないかな。

山川校長：まだ定まっていない。時間はかかる。みんなで考えていかなければいけない問題ではある。

成瀬委員：人材の充足も含めて全国規模で考えていく必要がある。

金田委員：学校だけでなく社会全体が変わっていかなければ。

## **（５） １年を振り返って**

委員から１年を振り返って一言ずついただいた。

金田委員：ロマンスカーミュージアムも職場体験を受け入れているので、検討してはどうか。学校を真ん中に、保護者と地域がつながっていくことが大事。

碓井委員：学校が大きく変わった。どんな子どもを育てたいのかがわからなくなってきた。日本の文化や伝統がなくなっていくのを懸念している。

## **（６） その他**

山川校長：次回の学校運営協議会は、令和７年６月９日（月）13:45 から開催する。

１年間ありがとうございました。今日いただいたご意見については検討します。